

松下幸之助記念志財団 研究助成

研究報告

(MS Word)

【氏名】

宮川麻理子

【所属】(助成決定時)

千葉大学(非常勤講師)

(現在の所属:立教大学現代心理学部(助教)、早稲田大学演劇博物館(招聘研究員))

【研究題目】

戦後のダンスにおける「黒人」の表象に関する研究——暗黒舞踏誕生の周辺状況を再考する

【研究の目的】(400字程度)

本研究の目的は、戦後の日本のダンス作品に見られた「黒人」の表象の実態を把握し、そこでどのように黒人が描かれたのか、またなぜこの時期に黒人の表象が多数上演されたのか、その理由を明らかにすることである。戦後、日本で誕生し世界的に広まった舞踏の創始者として知られる土方巽の初期作品《禁色》には、「黒塗り」が登場したことは広く知られているが、他のダンス作品に見られた「黒人」の表象についてはこれまでほとんど研究されておらず、「黒人」の表象は舞踏誕生の時代背景を読み解く鍵になると考えられる。本研究では、戦後の対日文化政策の影響や当時の日本人が黒人に対して抱いたイメージを念頭に置きながら、ダンス作品の中で見られた「黒人」の表象の多義的な側面を検討していく。

こうした視点は、欧米との関連で語られてきた日本の舞踊史において、黒人文化のもたらした影響やその意義を検討することにもつながると考えられる。

【研究の内容・方法】(800字程度)

① 「黒人」の表象の実態調査と戦前との件数の比較

戦前および戦後、ダンス作品において「黒人」の表象がどれほどあったのかを調べるために、雑誌『現代舞踊』、『週刊音楽新聞』、西宮安一郎編『モダンダンス 江口隆哉と芸術年代史』(東京新聞出版局、1989年)、村松道弥『私の舞踊史——ジャーナリストの回想』上・中・下巻(音楽新聞社、1992年)、および「早稲田大学文化資源データベース」、ほか関連書籍の調査を行い、必要に応じて早稲田大学演劇博物館や国会図書館等で関係する資料を閲覧した。

② 関係者へのインタビュー

上記①の調査によって、当初想定されていた本数よりもかなり多く、広い意味で「黒人」の表象を扱う戦後に上演された作品は70本以上に及ぶことがわかった。このうち、ご存命でコンタクト可能なダンサー数名(金井芙三枝氏、木村百合子氏、雑賀淑子氏、森嘉子氏)にインタビューを行い、「黒人」の表象を扱った意図や当時のダンス界の状況など貴重な話を伺った。また、貝谷バレエ団をはじめ、作品の資料を所蔵している個人や団体にも連絡を取り、映像や写真資料を閲覧した。

③ 個別の作品分析

戦前から戦後にかけて演劇やバレエにおいて舞台化された《ポーギーとベス》ほか、戦後の日本特有の問題である在日米軍と日本人女性の間でできた「混血児」をめぐるダンス作品、また差別に抗う黒人像と彼らへの共感を描いた芙二三枝子《そこから》、藤井邦彦の《ニグロと河》等の作品を主に分析した。このほか、日本における「黒塗り」、いわゆるブラックフェイスのダンスにおける事例を検証した。

④ アメリカの対日文化政策に関する調査

証言や当時の新聞記事などをベースに、アメリカ文化センター主催のモダンダンスの講習会について調査を行った(なお、調査結果は未だ不十分であり、今後より詳細な調査を継続して行う予定である)。また、来

日した黒人ダンサーに対する批評記事等を元に、言説分析を行なった。

【結論・考察】（400字程度）

戦後 70 本以上の「黒人」の表象を扱う作品が誕生した要因として考えられるのは、戦後のジャズブームの影響のほか、アメリカ文化センターが開催したモダンダンスの講習会や、大きなインパクトを残した来日した黒人ダンサーの公演である。また、黒人差別の問題、特に公民権運動は、日本人にとっても重要な出来事であり、「差別に抗う者」という黒人のイメージが形成され、その苦悩を投影する形でダンスが作られた。このイメージは、日米関係において、戦後新たな文化を享受しつつも、安保反対運動などが展開された 1960 年代の日本のアンビヴァレントな状況を反映している。

このような文脈において表象された黒人のイメージは多義的であり、ステレオタイプな黒人のイメージ（来日公演の批評に見られた「原始的」や「野生的」という言説）、新しいダンスのスタイル（実際に「アフロ・ダンス」を志した森嘉子や、それまでのモダンダンスやバレエとは異なる要素として積極的に黒人の動きを参照した英二三枝子や貝谷八百子）、抑圧され差別される黒人への同情と連帯の意識（英二、藤井邦彦）、また日本人のうちに存在する差別意識（大江健三郎の小説をモデルとした《飼育》）などが含まれる。

こうした一連の「黒人」の表象は、日本の舞踊史、とりわけ西洋のモダンダンスとの関連で語られる洋舞史の中で抜け落ちてしまった黒人文化の痕跡に改めて目を向ける必要性を物語っている。